完全なる思いつき？

そうですね。創刊は完全に思いつきですね。Trist のホームページを新しくするために色々しなきゃいけなかったんですが、情報を分類したり、テキストで説明するのすごく面倒だなと思いまして。この作業から解放されたいなーってボーっと考えていたら浮かびました。これを全部みれば Trist の楽しさも可笑しさもわかるとものにしたいと思います。思いつきで始めたので、思い付きで休んだり、出したりすると思いますので、ワクワクしながら待っていてください。そして、これを読んで Trist に興味を持っていただきましたら、ぜひ一緒に何かやりましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

創刊にあたって
尾崎えり子

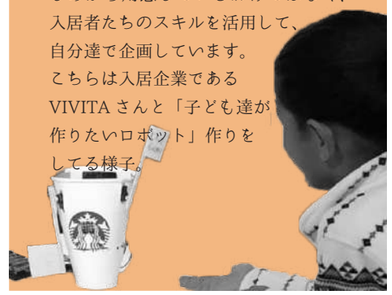
イベント報告

トリトーク！関西人のつどい

「うっさい関西人」が大集合。みんな自虐でしっかりオチをつけ、いじることで愛を表現する。めっちゃ笑いました。違いって最高だな。愛って面白い。

VIVITA× Trtist コラボワークショップ

Trist は入居者（大人）のみならず、その家族にも学びの場を提供しています。決して、素晴らしいサービスをはじめから用意しているわけではなく、入居者たちのスキルを活用して、自分達で企画しています。
こちらは入居企業である VIVITA さんと「子ども達が作りたいロボット」作りをしてる様子。



今月のアンケート結果

勤怠管理 10 選

社内メール
出退勤は社内メールで報告。
月初めに Excel マクロのフォーマットに前月の勤務日 時間を入力し、メールに添付して提出。

ジョブカン
ジョブカンを導入し、試行錯誤しながら運用中。他社に常駐中など、毎日打刻しないメンバーがいるので、打刻していても全員月末に出勤簿を提出。

Facebook Messenger
出勤・退勤ともに、Facebook Messenger にて報告。

Skype
出勤退勤 Skype に連絡。

TeamSpirit
打刻時位置情報を一緒に送れる TeamSpirit を使用。

Asana
タスクをつみあげてそれぞれが消化するシステムなので、さぼってるかどうか確認する必要がそもそもない。タスク管理には Asana を使用。

jinjer
出退勤は jinjer で行っています。併せて Slack でその日のタスクと実施報告をチームのタスクチャンネルで共有。

Dreco

Slack
勤怠チャンネルにて、おは／おつと入力すると、社内のシステムに反映。おは@人形町とすると自宅から人形町の交通費も反映される独自システム。

社内独自システム
事前に勤務時間を上長に報告しているので、出退勤時に報告と言うのは特になし。退勤時に社内独自システムにて日報とともに勤務時間を入力。

Trist Airport OPEN DAY

毎月好評開催中

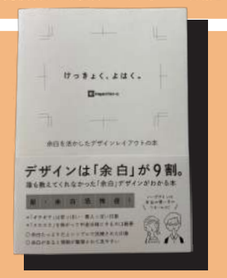
オープンスペースを無料開放し、ご自分のお仕事に取り組んでいただく企画。
シェアオフイスでリモートワークをするイメージをつかむのに、絶好の機会です。
ランチ会やフリーランスカフェなどの同時開催も。

月刊トリスト刊

風が吹けば桶屋が儲かる

予想もつかない面白い出来事が起こる場所。
そのキッカケとなる「風」を起こす人が集まるコミュニティ。

二〇二〇年四月号



超おすすめ本

「余白を作ること」を意識すれば、誰でも今より一歩垢抜けたデザインができる！余白に注目したデザインレイアウトの本です。むしろノンデザイナーにおすすめ。仕事も人生も、けっきょく余白次第だと思わせる名著です。

「けっきょく、よはく。」
余白を活かしたデザインレイアウトの本

出版社：ソシム 1,980 円（税込） 発行：2018/7/20

常識の、少し先へ

KIJI:CAFE
うまい珈琲

仕事の自慢をします

中村寿奈さん　グラフィックデザイナー

「美しく仕上げる」ことにこだわっています。要素や文字の配列に矛盾のない美しいデザインは、違和感をいかに排除できるか？という努力の結晶なので、手に取った人に気づかれることが余りありません。そのような「気づかれないデザイン」を究めることが、私の目標であり、仕事をする上でのいちばんの面白みです。 https://www.foriio.com/hisana

わたしが出来る事についてのお話

一時預かり専門託児所
ママズスマイル

Trist Airport 2階にて営業中

mama's smile

04－7136－1804

連載コラム
Tristの屋根裏

菊井 深雪

吐くほど飲みたかった自分に気づいた話

Trist のチームの話をするときに、私はよく「周りに迷惑をかけるような飲み方をするチームです」と話します。

あれは Trist が開所して半年くらいがたったころ、Trist ステーションにケータリングをして、お酒を持ち込み、初めての飲み会を開催してみました。もちろん全員、子供を夫たちにあずけたりして、完全手ぶらの状態で挑みました。

楽しい歓談が続き、気づけば6時間くらい飲み続け、夫たちがやってきて酔い潰れた妻たちを回収してくれ、無事帰宅したものの、ほぼ全員が吐いて、お掃除をお願いしているナルミさんから当然ながらクレームが来て、翌日尾崎さんは菓子折をもってナルミさんに謝罪 ww（愛のこもったお叱りを受けて許していただきました）

翌日、私も重い頭をひきずりながら、「ああ、やってしまった…」と思っていました。子育てしていると、我を忘れるほど飲むのは大変リスクが高いので、何かとセーブしてしまうもので、出産前は飲み歩いていたのに、吐くほど飲んだのは本当に久しぶりでした。

……でも、楽しかった。

そう思って、翌日、また復活できないまま、みんなにメッセンジャーで様子を聞いてみると、みんなそれぞれ二日酔いに苦しみながらも「おもしろかった。で、次いつやる？」と話すではないですか。みんなもそうなんか！

Trist のチームにはママが多いのだけど、子供がいることはあくまで属性の一つとして、もし子供がいなかったら、ではなく、子供がいる自分が本当にしたいこと、を思い出して、それを実現する方法を模索することができる、それが Trist という場所だと思います。女性をママと非ママに分けるのはナンセンスで、世の中には介護をしている人もいれば、離婚調停中の人もいれば、子供を諦めた人もいる。それぞれの属性を踏まえた上で、それでも自分がこうありたいと思う生き方を追求でき、それを認めて応援してくれる人がいる、そういう場所でありたいなと、思っています。